

令和6年度 1月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	16回
2	延べ従事補導委員数	75人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	293人



1月の活動日誌から

1月6日（月） 5, 6班（N・Y） 記

巡回経路 市民交流ひろば → 近津南公園 → 佐久平浅間児童館
→ ねむのき公園 → 大型スーパー（フードコート、ゲームコーナー）

活動の様子

新年最初の街頭補導活動であった。1月というのに雨が降り出し寒い日となったが、ねむのき公園では四阿（あずまや）で雨宿りをする2名の女子中学生を見かけた。バレーボールの自主練習に来ていると話してくれたが、新しい年の学校生活に期待している様子がうかがえた。佐久平浅間児童館は、年末年始休業中のためか、利用者がいつもよりかなり少なく静かな印象であった。大型スーパーのフードコートでは、休み中の宿題に取り組む生徒が目をつけた。ゲームコーナーでは、数組の親子連れが遊んでいた。新年に入って大勢の人出があることを予想していたが、店内は比較的穏やかな雰囲気であった。

1月7日（火） 14班（K・K） 記

巡回経路 中込駅 → 佐太夫町公園 → 成知公園 → 中込児童館 → 学童保育
→ 成田公園 → 橋場公園 → 平賀新町公園

活動の様子

晴れていましたが、気温は低く風の冷たい日でした。中込小学校は、今日まで冬休みということもあり、中込駅周辺の公園には全く人がいませんでした。中込児童館に入ると玄関正面に児童の2025年の目標が大きく貼られていました。勉強の目標やスポーツの目標など、子どもらしい目標が書いてありました。中込児童館は三が日は休みでしたが、4日から開館しており、本日は32名の児童が利用していました。続いて学童保育に行くと、30人程度の児童が机の上のおやつを食べていました。今日のおやつはフライドポテトとビスケットにマシュマロをサンドしたお菓子で、職員の手作りのおやつでした。室内はできあがったばかりのフライドポテトの香りが充満しており、職員の方の愛情たっぷりのおやつを子どもたちは、とても美味しそうに頬張っていました。



1月8日(水)

10班(T・M) 記

巡回経路 生涯学習センター → 東田公園 → 原公園 → 城山公園
→ 取出町ふれあい公園 → さくらさく小径 → 生涯学習センター

活動の様子

冬休み明けの巡回、生涯学習センター2階の学習室では、集中して勉強に取り組む学生の姿が見られ、1階つどいの広場では、主に児童が過ごしていました。小・中・高とも学校も始まり、児童生徒の下校する姿も見られました。原公園と城山公園では、冷たい風が吹く中、児童が元気に遊んでいました。公園内に時計はないものの、腕時計を持っている子の声かけで時間を守って遊んでいるようでした。さくらさく小径の橋の下など、普段は行かない場所も巡回することができて良かったです。

1月9日(木)

17班(S・Y) 記

巡回経路 臼田交番 → 下の宮公園 → 臼田児童館 → 旧臼田小学校
→ 下越児童館 → 臼田交番

活動の様子

新年を迎え、初めての街頭補導活動でした。日差しはあるものの寒風に背中も丸くなるような日でした。学校が始まり、ちょうど下校してくる子たちとあいさつをしました。やはり、寒いため下の宮公園に子どもの姿はありません。臼田児童館には、20人ほどの子どもたちがにぎやかに過ごしていました。館長さんから「インフルエンザなどの感染症はなく、のびやかに活動している」と伺いました。すぐそばにある旧臼田小学校のグラウンドでは、男子中学生6名が野球を楽しんでいました。寒空の中、さすがに元気いっぱいでした。最後に訪問した下越児童館では、2階の遊戯室をフルに活用し、活気あふれる女の子たち、手作りのサッカーゴールを使い全身でボールに向かう男の子たち、素晴らしかった。少し心配になったのは、汲み取り式の古い和式トイレ。このトイレを怖がり、使用できない児童がいるとのことで、改善が必要であると思いました。



1月10日(金)

3班(T・H) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 曾根公園 → 小田井児童館
→ 西屋敷グラウンド → 大型ゲームセンター

活動の様子

今日は晴れていましたが、風が冷たい日でした。小田井児童館に向かう途中の狭い道路で、自転車に乗った男子中学生が、道路の端によけて道を譲ってくれました。この気配りに「ありがとう」と声をかけると、軽く会釈してくれました。小田井児童館には、訪問時、小1の男女11名が室内で過ごしていました。2年生以上の児童は、これから来館するとのことでした。児童は、館内で宿題をやったり、ミニサッカー・縄跳び・コマ遊びなどをやったりしてにぎわっていました。職員は、15分ごとのローテーションを組み、児童にいろいろなことをさせてあげようと工夫されていました。大型ゲームセンターには、親子連れが数組いましたが、曾根公園、西屋敷グラウンドには、寒い日であったせいか人の姿はありませんでした。

1月14日（火）

12班（M・S） 記

巡回経路 生涯学習センター → 大型スーパー駐車場 → 原公園 → 城山公園
→ 中嶋公園 → 原公園 → 鍛冶屋公園 → 高柳公園 → 生涯学習センター

活動の様子

生涯学習センター2階の『学習室』には、7人の生徒が静かに勉強をしていた。『学習室』の外にあるテーブル席にいた高校生に話を聞くと「SNSで自分と友だちが被害にあったことがある」と話してくれたので、そのような時は警察に相談するように話をした。1階にある『つどいの広場』では、小学生数人がゲームをしており、その他にも数人がいたが、いつもと比べると少ないように感じた。原公園には、時間が早いためか、子どもの姿は見られなかった。城山公園では、小学生数人が遊んでおり、近くに行くと「こんにちは」とあいさつをしてくれた。四阿（あずまや）にいた中学生3人に話を聞くと、一人は県外の高校に進学して野球を続ける、ほかの二人は市内の高校に進学し、これからやりたいことを探したいと抱負を語ってくれた。頑張るように声をかけて別れた。原公園に戻ってみると、5人の児童が遊んでおり、城山公園で出会った児童と同様、あいさつをしてくれた。気をつけて帰るように声をかけて公園を後にした。中嶋公園・鍛冶屋公園・高柳公園には人影はなかった。巡回中に出会った子どもたちは、みんな元気にあいさつをし、いろいろな話をしてくれることに感心して巡回を終えた。

1月15日（水）

4班（I・K） 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 佐久平浅間児童館 → 近津南公園

活動の様子

大型ゲームセンターには、一般の利用客のほか、小学生と保護者とで遊びに来た親子連れが数組いました。施設内に保護者はいましたが、保護者は小学生を一人にして遠く離れたところでゲームをしていました。せめて目の届くところで遊ばせてほしいと思いました。佐久平浅間児童館では、インフルエンザの流行により、通常時より利用者が少ないとのことでしたが、厚生員の方がパーソナルスペースの確保や手洗いなどの衛生管理のもと、子どもたちの元気な声が聞かれました。

1月16日（木）

18班（Y・M） 記

巡回経路 浅科支所 → 御牧原多目的集会所 → カラオケ店 → 五郎兵衛記念館
および浅科地区内公園（菖蒲池・御馬寄・十二川原・庄ノ上・下原）

活動の様子

朝からとても寒い日でしたが、巡回の時間には雲一つない青空となり、日差しもあり、風もなく、暖かく感じました。しかし、巡回中、子どもの姿はあまり見かけませんでした。途中、上りの急坂で自転車を押している3人組を見かけたくらいでした。そのほか特に変わったことはありませんでした。

1月17日（金）

15班（I・N） 記

巡回経路 中込駅 → 横町公園 → 水上公園 → 平賀新町公園 → 佐久城山児童館
→ 佐久市総合運動公園 → 駄菓子屋 → 中込駅

活動の様子

明日は、大学入学共通テスト。過去には、当日、悪天候だったことが多く、安心してテストを受けられることを願わずにはいられない気持ちで街頭補導活動をスタートした。各公園では、寒いせいか、人の姿は見受けられなかった。佐久城山児童館では、今日の利用者は約 110 人で、子どもたちは寒空にジャンパーも着ないで、外で縄跳び等をやって過ごしていた。児童館の裏側（東側）には新しいグラウンドが新設され、1 月 10 日から使用できるようになった。新グラウンドの砂は非常に細かく、児童たちが安心して思い切り遊べるように配慮していると感じた。東小学校近くに雑貨屋があり訪問。毎日 10 人前後の子どもが訪れているようである。また、近所の女性が「コーヒーを飲みに来たの」と言って入店する姿を見て、その地域でなくては味わえない温かみを感じました。

1 月 20 日（月）

11 班（T・T） 記

巡回経路 生涯学習センター → 取出町ふれあい公園 → 旧大沢小学校

→ 前山グラウンド → さくらいこども広場 → 泉野団地公園 → 泉児童館

活動の様子

寒さも本番を迎え、いくつかの公園を回ってみましたが、さすがに外で遊んでいる子どもはいませんでした。泉児童館に行ってみると、55 名の利用者があり、館内やグラウンドで各々が楽しそうに様々な遊びをしていました。改めて、児童館は、保護者にも子どもたちにも貴重な場所なんだと感じました。

1 月 21 日（火）

1・2 班（専門補導委員）記

巡回経路 大型スーパー → 大型ディスカунストア → 砂田公園 → 大型スーパー

活動の様子

本日の従事者が集合し、今日の活動の打合わせを行った。その結果、昨年オープンした大型ディスカунストアを訪問することとなった。車中で、補導委員から「その店は、深夜 2 時まで営業しているが、暴走族などが駐車場に集まるのではないかと心配している」との話が出た。店長さんにお会いし、この話をしたところ、「これまでにそのようなことはありません。オープンした際、警察でいろいろ指導していただき、何かあったら警察に連絡するようにしています」とおっしゃっていた。店内に成人向けのコーナーがあったが、出入口に『18 禁』と書かれた暖簾が吊るされており、18 歳未満の者が立ち入らないよう配慮されていた。砂田公園には、中学 2 年生の女子生徒 2 名がブランコに乗って遊んでいた。「少年センターの者で犯罪の被害にあわないよう見守りに来た」と話すと、笑顔で「ありがとうございます」と答えてくれた。また、「看護師になりたい」「ダンサーになりたい」と笑顔で将来の夢を語ってくれ、私たちの車が発車すると、車が見えなくなるまで手を振ってくれた。大型スーパーのゲームコーナーでゲーム中の 2 名の男子生徒に声かけをした。2 人とも中学 2 年生で、「学校が早く終わったので、いったん帰宅してから同学年の友達 5 人で遊びに来た」とのこと。「今持っているメダルが終わったら帰ります」と素直に答えてくれた。気をつけて帰るよう話し、その場を離れた。

1月22日(水)

8班(K・Y) 記

巡回経路 浅間会館 → 鼻顔稲荷 → 駄菓子屋 → 東会館 → 中央図書館
→ 駒場公園 → 浅間会館

活動の様子

今日は、季節外れの暖かい日です。浅間会館の学習室では、3名の高校生が大学受験勉強をしていました。早い人で、朝9時から来ているようです。鼻顔稲荷には人影はなかったです。志賀の駄菓子店は、寄付で運営されていて、来店した子どもたちは200円分のチケットを貰い、無料でお菓子を購入でき、寄付された方にお礼の手紙を書いて渡しているそうです。子どもたちに優しいシステムだと思いました。東会館では、学習室の利用者はいませんでした。玄関のホールでは東中学校の生徒の福祉施設訪問など、福祉活動のまとめのパネル展示が行われていました。中央図書館では、中高年の利用者が多く見られました。ひと組の若いお母さんが子どもとよく図書館を利用していると話してくれました。学生の姿は、ありませんでした。駒場公園では、2名のお母さんと3名の児童が縄飛びで楽しく遊んでいました。

1月23日(木) 学校訪問(中込小学校)

13班(専門補導委員) 記

概要

学校訪問の会場に着くと、机には出席者の席札が置かれ、また部屋が暖められており、その心配りに熱く感激しました。また、学校訪問と同時間帯に重要な会議が重複していたようですが、学校長は学校訪問の冒頭に顔を出していただき、中込小学校の現況等を含め、ごあいさつしていただきました。生徒指導係の先生から、学校教育目標・重点目標などを説明していただき「主体的な学びの教育」を推進されているとお聞きしました。この「主体的な学び」とは、児童が自らに「自分たちは何をしたいのか」を問いかけ、子ども主体で作り上げるもので、2年生は「山羊の飼育」、3年生は「商店街で販売体験」、他に「中込学校の紹介ビデオの作成」をした学年もあったようで、感心させられました。また、地域との連携が図られており、切り絵・書道・ダンスなどの指導をいただいているとお聞きしました。学校訪問に伺い、伝統ある中込小学校の児童がこれからもすくすくと育ってほしいと願って、学校を後にしました。

1月27日(月)

16班(O・R) 記

巡回経路 あいとぴあ → 田口児童館 → 五稜郭公園 → 青沼児童館
→ 下の宮公園

活動の様子

1月も最終週となりました。田口児童館では、1, 2年生の児童10人程が、読書やブロック遊びをしていました。高学年の児童は、これから来館する予定とのことでした。五稜郭公園では、保育園帰りの親子3組を見かけました。寒そうに子どもを見守る保護者とは対照的に、園児たちは元気よく遊具で遊んでいました。青沼児童館では、1, 2年生が集まって、「かるた」を楽しんでいました。学年の異なる子どもたちが、集中して「かるた」に向かう姿に、懐かしい昔の思い出がよみがえり、なんとも温かい気持ちになりました。

1月29日（水）

7班（S・H） 記

巡回経路 駄菓子店 → 新子田八幡神社 → 大型スーパー

および各公園（紅雲台区・湯川台団地・鼻顔・若宮・枇杷坂・ゆりのき）

活動の様子

駄菓子店を訪問。小学生中心に6名ほど子どもがおり、店主と話をしていた。お店には、地域の人が寄付をし、その一部により子どもへの菓子チケットが発行され、受け取った子どもはお菓子をもらい、寄付してくれた方へお礼の手紙を書くというシステムとのことで、大人や地域の人とのつながりがあり、とても良いことだと感じた。いくつかの神社や公園を訪問したが、寒さもあり、ほとんどの公園では子どもの姿はなかったが、寒いにもかかわらず野球をやっている少年の姿があった。また、新子田八幡神社の境内では、祖母と保育園児の孫が落下した木の枝を拾っていた。祖母に聞くと「参拝者などがつまづいて怪我をしないようにと思い、木の枝を拾っている」と話してくれた。祖母の思いやりの心・行動を見た園児が祖母と同じように枝拾いをしているのを見て、ほほえましく思い、また、この子はいい子に育つだろうなと感じた。

1月30日（木）

19班（M・M） 記

巡回経路 望月図書館 → 佐久良公園 → 茂田井宿旧街道

→ コンビニ → 若駒児童公園 → 望月児童館 → 望月支所

活動の様子

外気温は2℃、晴天ではあるものの、風の冷たい日であった。望月図書館の学習室は、学生や一般客を含め、6人程が利用していた。中学生は、サイレントルームも使用していた。司書の方のお話では、平日は15時くらいから、土・日は朝から、生徒の利用があるとのことだった。公園や街道に子どもの姿はなく、コンビニエンスストアにも児童・生徒の利用者はいなかった。望月児童館は、70人程が利用しており、訪問時には50人弱の小学生が、元気に活動していた。季節がら、望月地域では、子どもたちが放課後過ごす場所は、自宅、児童館、塾などに限られているように感じた。

1月31日（金）

9班（T・H） 記

巡回経路 生涯学習センター → 野沢児童館 → 中嶋公園 → 原公園

→ 城山公園 → 生涯学習センター

活動の様子

今年も子どもたちにとって良い年でありますようにと願いながら、令和7年1回目の街頭補導活動を行いました。生涯学習センター1階の「つどいの広場」には、いつもなら多くの子どもたちが学習していますが、今日は一人もいませんでした。2階の「学習室」に行くと20人前後の生徒が学習していました。野沢児童館に行くと寒い中、10人くらいの子どもの元気よく遊んでいました。次に、中嶋公園、原公園に行っても子どもの姿はありませんでした。前回の街頭補導活動では、城山公園で5名の子どもがスマホで楽しく遊んでいましたが、今回は一人もいませんでした。公園の奥の方に人影があったので、行ってみると2名の高校生が楽しそうに会話していました。二人は高校3年生で、「4月に医療系の大学に進み、看護師を目指します」と明るく答えてくれました。



◀ 1月の活動を終わって。 専門補導委員 S・T ▶

理不尽な事件が続いた。昨年12月の夜8時ころ福岡県 北九州市のファーストフード店で中学生男女2名が刃物で襲われ、うち女子中学生が尊い命を奪われた殺傷事件。犯人は「入店前に2人と目が合ってバカにされたと思った」と供述している。また、年明けの1月22日には、長野駅前のロータリー付近でバス待ちの男女3名がやはり、刃物で襲われ男性1名の尊い命が絶たれた。この事件では、背景および動機については、不透明な点が残されている。また、長野駅前での事件直後には、県内の自治体に「子どもに危害を加える」という脅迫メールが多数送られたとの記事も目にした。何とも理解しがたいことが実際に起こっている。このような事件の背景には何があるのか、犯人逮捕にとどまらず動機の解明を望むところである。

そんな中、1月25日に青少年健全育成活動のひとつで、募集により参加を希望した佐久市在住の小学校5・6年生で構成されるジュニアリーダー研修生の卒業式とも言える「私たちが考えた最後の研修会」に触れる機会を得た。この活動は、年10回以上(今年度は12回)の研修課題に異なる学校の児童らが協力し合い、意見を交わし、行動をと



「私たちが考えた最後の研修会」での記念撮影

もにしながら目標をクリアしていくもので、この卒業式は、1年間の活動内容を保護者や関係者への発表の場として行われたものである。私自身、昨年度は研修に関わる機会があり、5年生から継続して参加していた児童には、見慣れた顔があった。ただ、本年度に見た顔は、昨年度とは異なり、声をはり、胸を張り、自分の言葉で発言するといった、目を見張る成長を感じることができた。この子らがそれぞれの学校に本研修で学んだことを持ち帰り、よい影響を与えることを期待したいと思う。また、ジュニアリーダーの活動を支える縁の下で力持ちとして、学生ボランティアがスタッフとして機能している。彼らの中には、小学生のころジュニアリーダー研修を経験した者もあり、接する児童らへの対応も逞しく、優しい。学生ボランティアの中には、すでに進学のため県外に転出している者もいるようだが、「やがては佐久に戻ります。」と語ってくれた者もいる。他の学生も「佐久で働きたい。」「来年もボランティアとして参加したい。」と話してくれた。力強く語ってくれた彼らを見ていると、青少年育成に意義があると思える。既述、理不尽なことが起こる現在ではあるが、巡回活動も然り「青少年」のためを忘れずに明るい未来を見据え、尽力して行きたい。



令和6年度 巡回補導活動に伴う、補導日誌発行も残り2回となりました。
よろしくお願いいたします。